



## Cisco NAC ゲスト サーバの インストール

---

この章の内容は、次のとおりです。

- [Cisco NAC ゲスト サーバの接続 \(p.2-2\)](#)
- [コマンドラインの設定 \(p.2-4\)](#)
- [アプライアンスの再イメージング \(p.2-7\)](#)

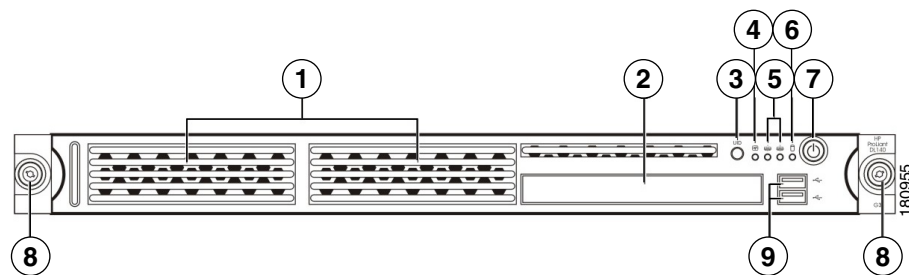
## Cisco NAC ゲスト サーバの接続

Cisco NAC ゲスト サーバは、Cisco NAC Appliance 3310 (NAC-3310) ハードウェア プラットフォームをベースにしており、デフォルトのシステム イメージがあらかじめ組み込まれています。ゲストサーバを入手後、初期設定（「[コマンドラインの設定](#)」[p.2-4] を参照）を行います。CD インストールを行い、アプライアンスの再イメージングの必要がある場合、「[アプライアンスの再イメージング](#)」(p.2-7) を参照してください。

初期設定を行うには、アプライアンスに接続し、以下の方法でコマンドラインにアクセスする必要があります。

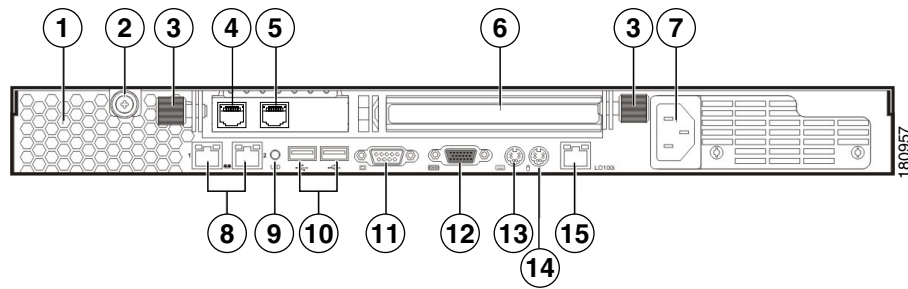
- ステップ 1** 次の 2 つのいずれかの方法で、Cisco NAC ゲスト サーバ コマンドラインにアクセスできます。
- マシンの背面パネル (図 2-2) にあるキーボード コネクタおよびビデオ モニタ コネクタからモニタとキーボードをマシンに直接接続します (推奨される方法)。
  - スル モデム シリアル ケーブルをワークステーション (PC または ノート型パソコン) からアプライアンスのシリアル ポートに接続します。端末エミュレーション ソフトウェア (HyperTerminal または SecureCRT など) を使用してワークステーションのシリアル接続を開き、設定値を 9600 ボー、8 データビット、パリティなし、1 ストップビット、フロー制御なしに設定します。
- ステップ 2** ストレートスルー カテゴリ 5 イーサネットケーブルをアプライアンスの背面パネルにある eth0 (NIC1) 10/100/1000 イーサネット ポートに差し込んで LAN に接続します。
- ステップ 3** AC 電源コードをアプライアンスの背面パネルと接地された AC コンセントに接続し、アプライアンスの電源をオンにします (図 2-1)。
- ステップ 4** 「[コマンドラインの設定](#)」(p.2-4) の手順に進みます。

図 2-1 Cisco NAC ゲスト サーバの前面パネル



1	ハードディスク ドライブ (HDD) ベイ	6	HDD アクティビティ LED インジケータ (グリーン)
2	CD-ROM/DVD ドライブ	7	LED インジケータ付き電源ボタン (2色: グリーン/アンバー色)
3	LED インジケータ付き UID (ユニット識別) ボタン (ブルー)	8	前面カバーの取り付けネジ
4	システムヘルス LED インジケータ (アンバー色)	9	前面 USB ポート
5	NIC 1 (eth0) および NIC 2 (eth1) のアクティビティ/リンク ステータス LED インジケータ		

図 2-2 Cisco NAC ゲスト サーバの背面パネル



1	通気孔	9	LED インジケータ付き UID ボタン(ブルー)
2	上面カバーの取り付けネジ	10	背面 USB ポート (ブラック)
3	PCI ライザー ボード アセンブリの取り付けネジ	11	ビデオ ポート (ブルー)
4	NIC 3 (eth2) および NIC 4 (eth3) PCI Express	12	シリアル ポート
5	GbE LAN (RJ-45) ポート (Intel)	13	PS/2 キーボード ポート (パープル)
6	標準サイズの PCI Express x16/PCI-X ライザー ボード スロット カバー	14	PS/2 マウス ポート (グリーン)
7	電源コード ソケット	15	IPMI 管理用 10/100 Mbps iLO LAN ポート (RJ-45)
8	NIC 1 (eth0) および NIC 2 (eth1) 統合 GbE LAN (RJ-45) ポート (Broadcom)		



(注)

3つのLANポートには、それぞれアクティビティおよびリンクステータスとネットワーク速度を示すLEDインジケータが付いています。

## コマンドラインの設定

Cisco NAC ゲスト サーバ アプライアンスでは、最小限度のコマンドライン設定が必要です。次の2つのタスクを行います。

- ネットワーク上のアプライアンスにアクセスするための「[IPアドレスとデフォルトゲートウェイの設定](#)」(p.2-4)
- アプライアンスでのデフォルトからの「[ルートパスワードの変更](#)」(p.2-6)

### IP アドレスとデフォルト ゲートウェイの設定

ネットワーク上でアプライアンスにアクセスするには、アプライアンスの1つめのインターフェイス (eth0 または NIC1) に IP アドレスとデフォルトゲートウェイを設定する必要があります。設定は次の手順を行います。

- ステップ 1** アプライアンスへのキーボードおよびモニタによる接続、またはシリアル コンソール接続のいずれかを使用し、コマンドラインインターフェイスでパスワード認証を行います。コンソールのユーザー名は **root** で、デフォルトのパスワードは **cisco** です (図 2-3)。

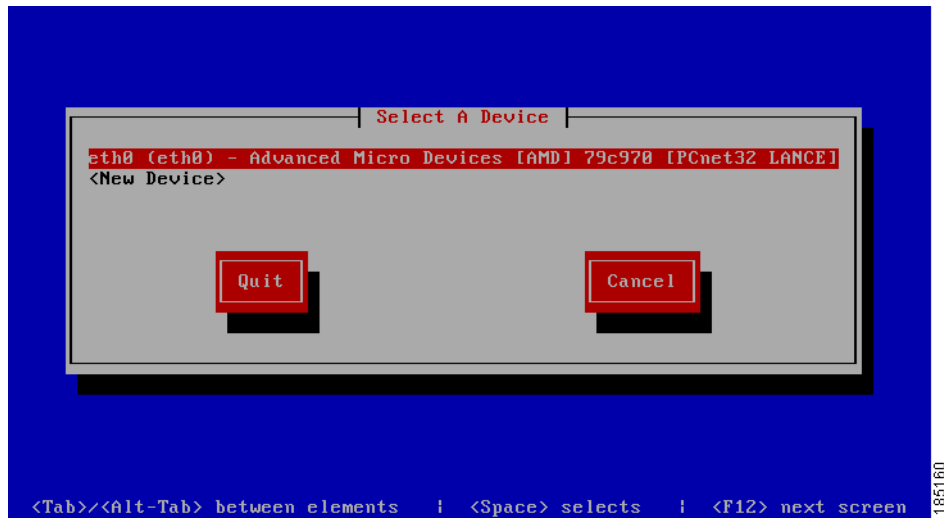
図 2-3 コンソールに対する認証

```
Fedora Core release 6 (Zod)
Kernel 2.6.20-1.2962.fc6 on an i686

localhost login: root
Password:
*****
*
* To configure the network settings please enter *
*
* system-config-network <ENTER>
*
* when changed enter
*
* reboot <ENTER>
*
*****
[root@localhost ~]# _
```

- ステップ 2** **system-config-network** コマンドを入力して <enter> を押し、ネットワークを設定します。Select A Device メニューが表示されます (図 2-4)。

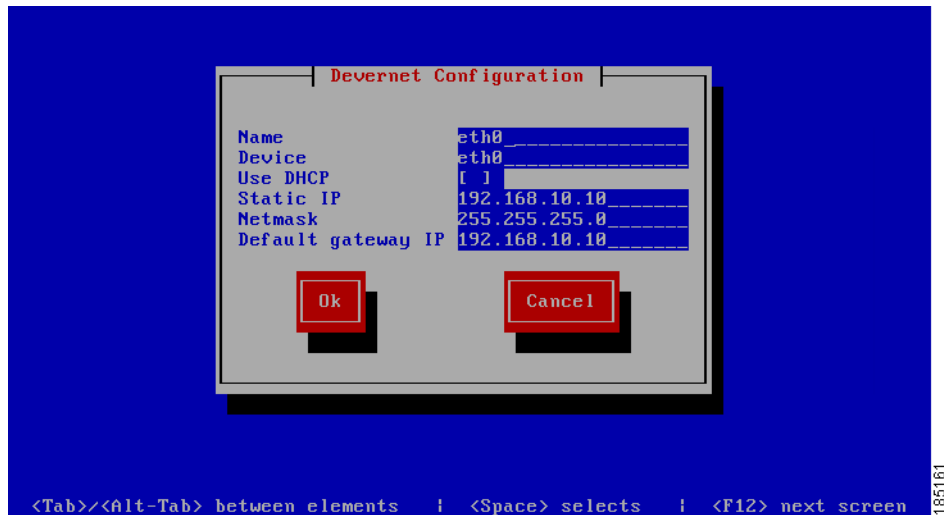
図 2-4 eth0 インターフェイスの選択



**ステップ 3** 上下矢印キーを使用してリストから eth0 インターフェイスを選択し、<enter> を押します。

**ステップ 4** これにより、アプライアンスのすべての正しいネットワーク設定を入力できます (図 2-5)。

図 2-5 ネットワーク設定の詳細の変更



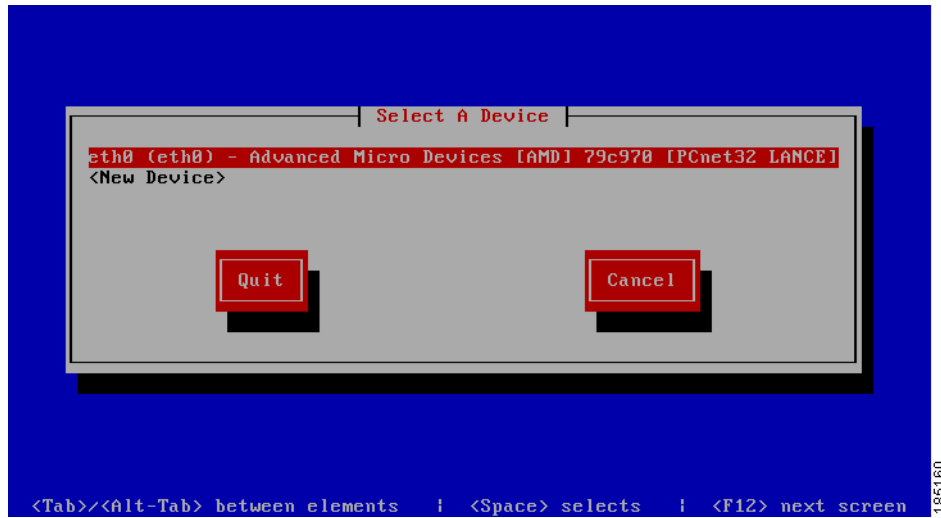
以下の情報を入力します。

- **Static IP** — Cisco NAC ゲスト サーバに割り当てる IP アドレス
- **Netmask** — 対応するサブネット マスク
- **Default gateway IP** — ネットワークのデフォルト ゲートウェイ

Tab キー、矢印キー、または <Enter> を使用するとフィールド間を移動できます。終了したら、Tab キーで Ok ボタンに移動し、<Enter> を押します。

**ステップ 5** ネットワーク選択画面から Quit を選択し、system-config-network を終了します (図 2-6)。

図 2-6 ユーティリティの終了



**ステップ 6** コマンドラインで **reboot** と入力し、<Enter> を押してアプライアンスをリブートするか、**reboot** を入力する前に「ルートパスワードの変更」(p.2-6) に進みます。

## ルートパスワードの変更



(注) ルートパスワードをデフォルトの **cisco** から変更する必要があります。セキュリティ強化のために、複雑なパスワードの使用を推奨します。

**ステップ 1** コマンドラインで **passwd** と入力し、<Enter> を押します。

**ステップ 2** 新しいパスワードを入力し、<Enter> を押します。

**ステップ 3** 再度パスワードを入力し、<Enter> を押します。

「システムのセットアップ」(p.3-1) に進み、admin コンソールへのアクセス、設定を行います。

## アプライアンスの再イメージング

Cisco NAC ゲスト サーバの工場出荷時点でシステム イメージがすでにユニットに組み込まれているため、イメージングは不要です。再びアプライアンスのイメージングを行い、工場出荷時設定にする必要がある場合、Cisco.Com の Cisco Secure Software Downloads からシステム イメージ ISO をダウンロードし、この ISO ファイルを空の CD-ROM にコピーします。システム イメージをブート可能な CD にコピーしたら、次の手順でシステム イメージをアプライアンスにインストールします。詳細については、『[Release Notes for Cisco NAC Guest Server, Release 1.0.0](#)』を参照してください。



### 注意

アプライアンスのイメージングにより、アプライアンスにあるすべてのデータが削除されます。イメージングの開始後は、ゲスト サーバからデータを復旧させる方法はありません。このプロセスを開始する前に、必ず必要なデータをバックアップしてください。

- ステップ 1** Cisco NAC ゲスト サーバアプライアンスの CD-ROM ドライブにブート可能な CD を挿入します。
- ステップ 2** インストールをキーボードとモニタを使用して行うのか、シリアル コンソール接続で行うのかを決定します。キーボードとモニタをアプライアンスの背面に接続するか、またはヌル モデム ケーブルをアプライアンスの背面にあるシリアル ポートに接続します。シリアル ケーブルが接続されているコンピュータから端末エミュレーション プログラムを起動し、設定値を 9600 ボー、8 データビット、パリティなし、1 ストップビット、フロー制御なしに設定します。
- ステップ 3** アプライアンスに接続し、イメージを含む CD を挿入したら、アプライアンスの電源をオンにします。アプライアンスをオンにするか、またはアプライアンスがすでに起動している場合には、一旦オフにしてから再びオンにします。
- ステップ 4** アプライアンスが CD-ROM ドライブから起動し、初期インストール画面が表示されます (図 2-7)。

図 2-7 初期インストール画面

```
- Welcome to the Cisco NAC Guest Server Installation Process
- To install using a keyboard and monitor press the <ENTER> key.
- To install using the console enter 'serial' and press <ENTER>.
- Use the function keys listed below for more information.
[F1-Main] [F2-Options] [F3-General] [F4-Kernel] [F5-Rescue]
boot: _
```

185155

## ■ アプライアンスの再イメージング

**ステップ 5** 初期インストール画面で、アプライアンスとの接続方法に応じて、インストールの実行方法を選択します。

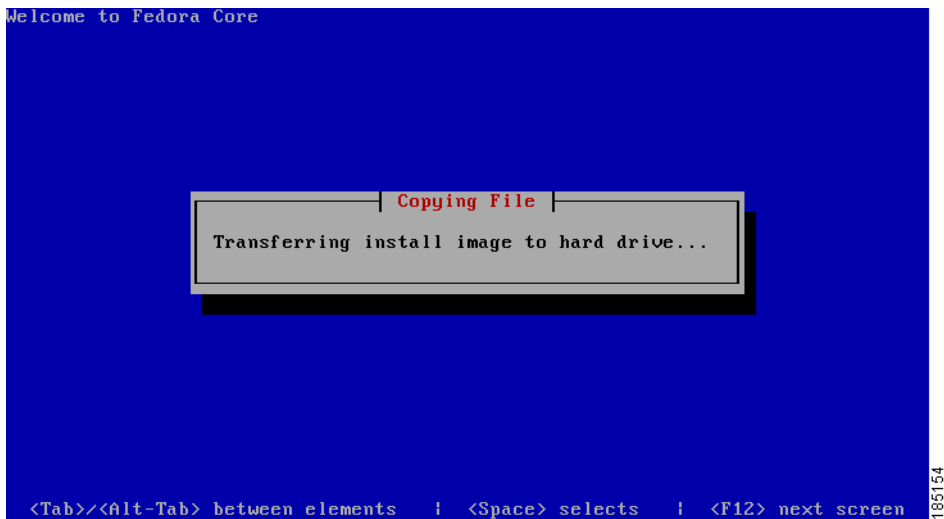
- キーボードとモニタにより直接接続されている場合は、<ENTER> を押します。
- シリアル接続を使用している場合は、ブートプロンプトで `serial` と入力し、<ENTER> を押します。



**(注)** シリアル接続で誤って <ENTER> を押した場合、イメージングプロセスは実行されますが、プロセスの最後にアプライアンスが再起動するまで画面は表示されません。

**ステップ 6** システムイメージがハードディスクに自動的にインストールされます (図 2-8)。

図 2-8 インストールイメージのコピー



**ステップ 7** インストールイメージが無事にコピーされると、システムは自動的に再起動します (図 2-9)。

図 2-9 アプライアンスの再起動





**ステップ 8** CD-ROM が自動的にアプライアンスからイジェクトされます。



**(注)** アプライアンスがあとで誤って再起動しないように、CD を取り出し、安全な場所に保管します。

**ステップ 9** アプライアンスが起動し、イメージの最終セットアップが自動的に実行されます。イメージングプロセスが完了し、ログイン画面が表示されます (図 2-10)。

**図 2-10** イメージングの完了

```
Fedora Core release 6 (Zod)
Kernel 2.6.20-1.2962.fc6 on an i686
localhost login: _
```

**ステップ 10** ルート ユーザとしてログインし、引き続き「コマンドラインの設定」(p.2-4) の指示に従ってインストールを完了します。

■ アプライアンスの再イメージング